



子どもたちの安全のために

1月20日（月）に不審者対応の避難訓練を行いました。今回は、愛媛県警のスクールサポーターの方をお招きして、どこから不審者が入るか分からない状態で、どれだけ対応できるのか、確かめてみました。

詳細をこの場でお伝えすることはできませんが、子どもたちの避難の仕方や教職員の対応などについては問題ありませんでした。それは授業中を想定していたことが大きいと思います。地震や火災対応の避難訓練の際にも全校に伝えていますが、もし休憩時間だったら、もし給食の時間だったら、など授業以外の時間帯で、危機が訪れた場合の対応について、教職員だけでなく子どもたちも考えておく必要があります。

避難訓練後、県警の方からは、右下の「いかのおすし」について改めてお話がありました。また、不審者は、帽子を被ってサングラスやマスクをして、というような分かりやすいイメージではないということも伝えられました。

教職員に対しても、さすまたの使い方や不審者への声の掛け方なども教えていただいていますので、共通理解を図りながら教職員全体で子どもたちの安全を守ることができるよう努めていきたいと思っています。ご家庭でも、校外での過ごし方とともに、不審者対応についてお話をさせていただきますよう、ご協力をお願いいたします（子どもたちには、普段の外出の際にもできるだけ防犯笛と防犯ブザーを携帯するよう伝えていきます。）。



【いかのおすし】

知らない人についていかない
知らない人のくるまにのらない
おおごえを出す **い**かない **の**らない
すぐににげる
しらせる



町探検、その後…。

2学期に2年生が町探検をしました。その後、学級の友達や他学年に調べたことを発表しました。そのことについては、校長室便りでもお伝えしました。さらに、冬休み中、町探検でお世話になった場所を学級担任が訪ねて、子どもたちの発表の様子をタブレット端末で見させていただきました。本当なら発表の様子を生で見させていただきたかったのですが、それができなかったためビデオ視聴をお願いしました。お忙しい中ではありましたが、子どもたちの発表の様子を温かいまなざしで見いただき、学級担任は大変喜んでいました。子どもたちの活動の様子を、地域の方にフィードバックできたことは、「ふるさと潮見」を大切にすることにつながったと確信しています。改めてご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

